

平成 26 年度 南部圏域課題解決プラン実施計画変更（案）

【プラン 1】①ソフト事業による取り組み（P1）

平成 26 年度施策 現行	平成 26 年度施策 変更（案）
【継続施策①】 県が公表した被害想定等をうけ、「津波減災県南モデル」の取組を「深化」させ、「助かる命」を助ける取組に加え、「助かった命」を守る取組として「避難所運営」に関する訓練やワークショップを行うほか、モデル地区内における浸水区域内外の地域が連携した支援訓練を実施し、地域のスキルアップや意識向上を図る。	【継続施策①】 「津波減災県南モデル」の取組を「深化」し、「助かる命」を助ける取組に加え、「助かった命」を守る取組として「避難所運営」に関する訓練やワークショップを行うほか、モデル地区内における浸水区域内外の地域が連携した支援訓練を実施する。また、津波減災県南モデルの取組で得られた津波減災対策のノウハウや内容を、「津波減災県南モデル実践マニュアル」として整理し、他地域に「普及」することで、南部圏域の防災力の強化を図る。
【継続施策②】 防災訓練の実施と防災体制強化、次世代の防災活動の担い手の育成、自主防災活動の活性化と、それぞれが互いに連携する活動の場をつくることで「自助・共助・公助」の連携機能を強化し、災害に強い地域の絆づくりを推進する。	【継続施策②】 『挙県一致による「応急・復旧」体制の構築』を進めるため、医療関係機関と連携した南部圏域防災訓練や、観光事業者が実施する津波避難訓練を支援するなど、実践的な『防災訓練』を実施し、『災害対応力の強化』を図る。

【プラン 10】③県産材の利用促進（P10）

成果指標	H26目標 現行	H26目標 変更（案）	理由
県産材の生産量	130,000m ³	140,000m ³	H26目標を達成したため上方修正 (H25実績136,070m ³)

【プラン 32】③生態系に配慮した野生生物の適正管理及び鳥獣被害防止対策（P25）

平成 26 年度施策 現行	平成 26 年度施策 変更（案）
【継続施策①】 野生鳥獣の適正管理の担い手である狩猟者を確保するため、狩猟者免許試験の回数を増やし、受験者及び新規合格者の増加を図る。	【継続施策①】 野生鳥獣の適正管理の担い手である狩猟者を確保するため、狩猟者免許試験を休日開催するなど、受験者の利便性を図る。

【プラン 39】①後継者の育成（P30）

成果指標	H26目標 現行	H26目標 変更（案）	理由
認定農業者数（累計）	325経営体	330経営体	H26目標を達成したため上方修正 (H25実績326経営体)
労働力確保サポートバンクの登録者数（累計）	150人	220人	H26目標を達成したため上方修正 (H25実績180人)